

【産業経済】 江川 章 ゼミ



演習テーマ：日本の食料・農業・農村の分析と展開方向

<活動内容>

本ゼミでは、日本の食料・農業・農村の問題を経済的な観点から分析します。たとえば、食料の需給問題や、食料を作るために投入される農地や労働力、資本といった生産要素の問題、さらには食料・農業の基盤となる農村や環境・資源の問題を取り扱います。

ところで、考察の中心となる農業の役割とは何でしょうか。一つは、人間にとって不可欠な食料を安定的に供給することです。ここでいう安定的とは量的・質的な意味を含みます。

もう一つの役割は、環境を保全することです。農業では自然を相手に生産活動を行いますので、できるだけ環境に負荷を与えない生産方法を探らなければなりません。環境を保全することが持続的な農業の前提条件となります。

これら二つの役割を実現するには、冒頭であげた経済的問題を解決することが重要となりますが、実はそれだけではありません。食料の安定供給では、最終的には国内の生産量をどれくらいの水準に設定するかが問われます。いわゆる食料自給率の問題ですが、これには政治的・政策的な判断が伴います。また、環境保全についてみると、環境を形成する農地や水といった資源の利用では農村集団(=コミュニティ)が深く関わります。

このように、農業というのは経済的問題だけでなく、政治やコミュニティの問題も含めて幅広く考える必要があります。さらに、現代の農業は一国の問題だけでは完結しません。WTOやFTAといった貿易交渉の行方が国内農業を大きく左右するようになっています。

こうした諸問題を多角的にとらえ、日本の食料・農業・農村の現状と今後の展開方向について考察することが本ゼミの目的です。ゼミで行なう議論では、まず文献・資料等を用いて食料・農業・農村問題に関する基本的な理論や考え方の枠組みを広く学習します。そのうえで、農村現場で起きている様々な問題を把握するために、フィールドワークを実施します。このように、理論と現実とのバランスを取りながら、食料・農業・農村について考察を深めていきます。

<ゼミ紹介>

ゼミでは身近な食料、それを作る農業・農村に加え、環境・資源についても幅広く取り扱います。これらに関心のある方は、ぜひゼミに参加してください！

